

『オー!ゴッド』(Oh, God!)は、1977年10月7日公開のアメリカ合衆国のコメディ映画。主人公ジェリー・ランダースをジョン・デンバーが演じている。1971年に発表されたエイヴリー・コーマンの同名小説を原作とする。

日本公開は1978年6月。

スタッフ

監督:カール・ライナー

製作:ジェリー・ワイントローブ

原作:アヴェリー・コーマン

キャスト

ジェリー・ランダース (ジョン・デンバー)

神 (ジョージ・バーンズ)

ボビー・ランダース (テリー・ガー)

ハーモン博士 (ドナルド・プレザンス)

サム・レーベン (ラルフ・ベラミー)

ジョージ・ソマーズ (ウィリアム・ダニエルズ)

ジャッジ・ベイカー (バーナード・ヒューズ)

ウィリー・ウィリアムズ (ポール・ソルヴィノ) - 商業主義の宗教者。

ビショップ・レアドン (バリー・サリヴァン)

ストーリー

スーパーマーケットの副店長であるジェリー・ランダースは、善良で真面目な男。妻のボビーと息子のアダム、娘のベッキーの4人家族で平凡ながらも幸せに毎日を送っていた。

ある日、ジェリーにホテルの2700号室に来るように書かれたダイレクトメールが届く。送り主の署名は神。いたずらだと捨てるが、寝室の枕元や、野菜売り場の野菜の中からも同じ手紙をジェリーは見つけてしまう。

ジェリーがホテルへ行ってみると、その部屋には誰もいない。帰ろうとすると、インターフォンからジェリーを呼び止める声がする。神と信じないジェリーに声の主は、このホテルに2700号室が存在しないこと告げる。エレベータで降りてボーイに聞くと、このホテルは17階までしかないとの返事。再び存在しないはずの2700号室に戻ったジェリーはそこで神との会話を始める。

神は人間社会のデタラメに警告を与えるため、ジェリーを神の使者に指名したことを告げた。

ジェリーは、神の存在を人々に知ってもらうため、さまざまな活動始める。「神からの啓示」を受けたことを面白がって取り上げるマスコミ。反対に、ジェリーを否定し、貶めようとする聖職者達。

商業主義に走る聖職者に対し、ジェリーはインチキと言ったことから、ついには裁判沙汰になってしまう。

進退窮まったかと思われた裁判所に、神が姿を見せ、ささやかな奇跡を見せる。訴えそのものは却下された。しかし、裁判記録の録音テープからも速記記録からも神の発言内容は消えていたため、神の存在証明はできず、ジェリーの勝訴にもならなかった。

一連の騒動の結果、ジェリーはスーパーマーケットを解雇されることになる。道端の電話ボックスから呼び出し音が鳴り、その電話に出てみると隣の電話ボックスに神の姿が。

これからの指針を尋ねるジェリーに神は、ジョニー・アップルシードの例えを返し、最後にこう告げる。

「君たちにはすべてを与えている、後は、自分達で判断して生きなさい。決して絶望することはない」